いけばなを楽しむ会。

(教室 No.147207)

●場所

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-37-4 IKE・Biz としま産業振興プラザ 「TEL」03-3980-3131

9:00 ~ 2 (≥00 ※会場の都合で変更有月1回。約1時間のお稽古。

数定=03-3984-4780

詳細は HP をご覧ください
▼



#### まずは体験レッスンにお越しください

いけばなの基本を学び、伝統文化の知識や美的感覚を身に つけませんか?普段の暮らしにも活かせるお花のスキルだから、 毎日がもっと華やかに輝くこと間違いなし。まずはお気軽に、 お近くの教室にご連絡ください。

・ 美学」と言われます。空間 おいけばなは、「引き算の

#### Voice

### 48歳から、 いけばなの世界へ

ただ、花を花瓶に挿すのでは なく、「花をいかす」という考え方に 共感し、お稽古を始めてみました。

いけばなは、花と向き合うこと で、自分とも向き合うことになり ます。花をいかすこと、それは人を いかすことにつながると気づき、自分 の仕事の有り様についても考え方 が変わってきました。

慌ただしい日々の中、花と向き 合い花と語り合う時間を大切にと、 お稽古させて頂いております。



高くなければ先生になれないの お稽古もそれだけ厳しいものと す。もし、先生を目指すのなら、 かで、お稽古の仕方が違ってきま なりますが、いけばなの技術が して習うか、先生を目指して習う ことのできない条件です。趣味と

を失わないことが、成長に欠く 経っても謙虚で、ひたむきな態度 それは一生懸命お稽古をして、 感性を高め、心を磨くことです。 美 できるようになること、 入門してから、どれだけ年月が

学び、歩むことが大切になります。 室町後期の家元、池坊専応は 「器用な人でなくてもよい。心ある 人が、稽古を積めば趣のある花を さすことができる」と意味深い 言葉を残しています。花をいける のに器用、不器用は関係ありま せん。草木に寄せる心を持って、 ひたすらに精進を重ねれば、良い 趣のある花をいけることができ るのです。先人達が歩いてきた 道を知って、そこから教えを汲 みとる、いけばなを極めるには、 どこまでも学ぶ心を持ち続け、 いけばなのお稽古を続けること

#### いけばなで身につくチカラ

- ●自分の理想をつくり出す「創造力」
- ●何が必要かわかる「判断力」
- ●実行するための「決断力」
- ●日々が豊かになる「新たな感性」



表現する、,何もない空間=余白 余白で空間の遠さや広がりを

理想としています。

を使って、表現していくことを 挿すのではなく、数輪の花や草木 を埋めるように花をたくさん

極意とは、いけばなの核心となるこそ、最高の美を感じる。余白のこそ、最高の美を感じる。余白のを深めていきます。何もないから 季節を通じて命の循環を知 通じて、生きている命に共感 大切なことです。 いけばな教室では、お稽古を

> だけではない人間的な成長にも やりの心を持つことに通じ、技術 ます。そのことが、他者への思い 見えないものを感じる心を養い 色や形だけの美しさだけでなく

花を学び、美を知る



## いけばなは、池坊から始まりました。

550余年の時を越え育まれてきた池坊のいけばな。「枯れた花にも華がある」と唱え、 あらゆる命の姿に美を見出す豊かな精神性は、現代にも受け継がれています。

# 華道家元 记师



一般財団法人 池坊華道会 〒604-8134 京都市中京区堂之前町248 池坊9階 TEL.075-231-4922(代表) mail:nyumon@ikenobo.jp